

高岡教区

教区報

2016

2月号

念仏のこころに生きる生活を

「教区仏教婦人会連盟新年会に八十六名が参加」

去る一月

会場を移して行われた新年会

二十八日、ホテルニューオータニ高岡にて高岡教区仏教婦人会連盟新年会が開催され来賓・仏教婦人会連盟会員合わせて八十六名が参加した。



の開会式では、石野順子委員長と来賓の公文名眞宗会議員が挨拶、宴席では、数々の民謡大会で優勝された本田麻優美さん（砺波市）による胡弓の演奏と民謡の披露があり、「いきりこ節」や「越中おわら節」を張りのある素晴らしい声で熱唱され、参加者はその美声に聞き入っていた。曲目の最後には本田さんの演奏する「ふるさと」を会場の皆で唱和し、感動の余り、思わず目が潤む参加者の方もおられた。

会に先立つて讚仏偈のお勤めと西岡孝了教務所長による法話があり、「赤尾の道宗という有名なお同行は、お聴聞の際に、同じ話であっても、初めてお聞きするようにいただそです」

また、余興として都道府県名をテーマにした各テーブル対抗のビンゴも行われ、なかなか都道府県名が思い出せず、苦戦しながらも同じテーブルの皆で協力してビンゴを完成させ、会場は大いに盛り上がった。今回のビンゴ大会では、支援活動の一環として、仏教

「考えてみますと、私の身は諸行無常、一日一日移り変わりゆく私であって、一日たりとて同じ私は居ません」話が同じであっても、それをお聴聞するのは、置かれている状況や受け止め方が以前とは異なる私なのですから、なるほど確かに初めてお聞きする話であると思います。仏教婦人会の皆さまにもお聴聞の際にこのように心がけていただければと願います」と法話された。

婦人会連盟 支援米で交流関係がある箱塚桜仮設住宅（宮城県名取市）をはじめ、仮設住宅にお住ま



いの方が作られた手毬などの手芸品を景品の一部として購入し供出した。

閉会にあたって来賓の北鹿渡文照組組長、元井和代副委員長が挨拶し、会の最後に、東日本大震災支援活動のためのダンナ募金へのご協力をお願いしたところ、四万四千五百七十円のご協力をいただいた。

東日本大震災追悼法要

日時：3月11日（金）午後2時46分（震災発生時刻）より勤修

会場：西本願寺高岡会館礼拝堂

内容：東日本大震災追悼法要（正信念仏偈）

講演 「いま」から土徳を見つめる「流離」から「いま」を考える

講師 青原さとし氏（映像作家 浄土真宗本願寺派僧侶 安芸教区）

詳細は同封の案内チラシをご覧ください。

「まこと」の保育について学ぶ

「保育連盟「まことの保育研修会」に九十二名が参加」

一月三十日(土)午後、まことの保育研修会が行われ、加盟園十三園より、九十二名が参加された。この研修会は、普段、保育や幼児教育に携わる保育士や教諭の先生方に、宗派が掲げている「まことの保育」の実践を進めてもらおうと年二回行われており、今回は、「わたしの目線 仏様の目線」という講題で、青木哲隆先生(新湊組覚円寺)が法話をされた。

開会式では、加盟園のひとつであるアソカ幼稚園が代表をして仏参を行い、献灯・献華・献香をし、参加者全員でおつとめをし、おやくそくを読み上げ、讃歌「涅槃会」を全員で合唱した。

その後の法話では、「日本全国に寺院は何ヶ寺あるの



か?日本三大仏といわれている大仏さまはこの都道府県にあるのか?」というクイズ形式からお話をされ、コンビニや歯科医院の数よりも多くの寺院があることや、高岡大仏と浄土真宗のご本尊は同じ阿弥陀仏でありながら、座っているのと立っているとの違いについてや、阿弥陀様は



どうして金色のお姿をされているのかということを説明。合わせて、阿弥陀様の心、慈悲についてのお話をされた。

「浄土真宗は、阿弥陀様の姿や形を拝むだけではなく、阿弥陀様の心に出会い、なぜその姿になったのかという願いに出会っていくことが大切である。私たちは、

やさしさに出会ったら『ありがとう』という言葉が自然と出るように、阿弥陀様への感謝の気持ちを南無阿弥陀仏という名号を称えることで、ひとりひとりが阿弥陀様から願われた命である」という先生のお話に、参加者は、改めて命の大切さを気づかされているようであった。

また先生から、非常に真面目にお話を聞かれる姿勢と、熱心にメモを取る姿が、とても感心したという感想をいただいた。

保育連盟では、これからもこの研修会を続けていく予定で、次年度高岡教区担当で行われる「まことの保育大学講座」に向けて、研修を深めたいとしている。

「親鸞聖人の実像に学ぶ公開講座」開催

来る3月12日(土)午後3時より、高岡教区布教団の主催(高岡教区教学財団教学研究室共催)で公開講座が開催される。(詳細は同封のチラシ)

これは、これまで布教使の自己研鑽を目的に実施されていた「学習会」を、広く一般に参加を呼び掛け公開で開催しようというもの。

「宗派外の歴史研究者」という事で、『親鸞再考 僧にあらず、俗にあらず』(NHK ブックス)、『知られざる親鸞』(平凡社新書)などのご著作がある松尾剛次氏(山形大学教授)を講師に招き、中世日本宗教史から見た宗祖をテーマに講演を行う。教区布教団では「どなたでもお気軽に参加してもらいたい」としている。参加費は1,000円(当日受付)。

御同朋の社会をめざす運動の「コーナー」

「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会報告

本年度の第二回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会が、二月五日午前十時より伝道本部で開催されました。各教区の委員は任期最後の中央委員会となります。中央からは総局をはじめ各担当部長等五十名が出席しました。

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)及び重点プロジェクトの推進状況についての報告事項と協議事項は、早めに終わりました。今回、特に時間を費やして協議されたのは、「非戦・平和の取り組み」についてと、「意見具申」についてでした。

宗報(二〇一五年十一月・十二月合併号)に掲載された「平和に関する論点整理」について総合研究所から説明がありました。また、その内容について福岡教区から意見具申もあり、中央(総合研究所・総局)の非戦・平和の捉え方や実践運動の理念について意見が交わされたことです。

福岡教区から出された意見をまとめると、この論点整理の内容では、教団の過去を不問にしており、問題を克服することのできない真俗二諦の教学理解に安住していることの指摘でした。さらに昨年の夏に問題となった政府与党の「安全保障関連法案」に対し、宗派が早急な反応を示さないことから福岡教区が直接、両議院議長宛に反対声明を出しました。しかし、そのことに対し総長から各教務所長に圧力がかけられたことが心外であった旨、当該教区の委員から暴露される場面もありました。他の委員から、これまで積み上げてきた基幹運動から後退しているとの厳しい意見も出されました。現在の総合研究所からの論点整理では、戦争が起きる背景や構造、教団の過去の歴史に学ぶ視点が欠落していることも踏まえて真俗二諦の清算に向けた取り組みを進めると共に、教団としての明確な反対の表明をすることが提言されて

います。

総合研究所の丘山所長からは、「様々な立場の人がいるので反対を広めていくことはよくない。むしろ議論を深めるための材料提示が大切である」との答弁でした。また、総長からは、今回の「平和に関する論点整理」は最終見解を示すものではなくあくまで中間報告。目的は学びをいっそう深めることにあり、明年度の総局巡回(公聴会)で協議を広めるとの説明がありました。さらに今は学びを深める段階で態度を表明する段階でないとの回答でした。


各教区から意見が出されるも、結局、かみ合うことはほとんどありませんでした。基幹運動から「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)に名称が変更され、二期四年間の中央委員会で、改めて明らかになったのは、運動そのものが大きく変質していったことです。「運動」が始まった願いは、真俗二諦をはじめとする教団と私たちの体質を変革していくことにあつたはずで、現在の運動はその成果と課題を継承すると謳いながら、内容は単なる「ご縁」づくりのみが強調され、その前提となる社会の問題をなおざりにして、きれいごとのアップीलばかりの運動に変容したと言わざるをえません。

基幹運動に真摯に取り組んできた教区の委員から、ため息と虚しい空気が漂う中で任期最後の中央委員会は閉会しました。

明年度は役職改選の年にあたりますが、新たな委員や次世代を担う若手僧侶に再度、教団の誤った過去の歴史や本来の(基幹)運動理念を伝えていくことが重要であると思います。

【中央委員・教区委員会副委員長 山名一徳】

これからの日程(2/20~3/20)

2月		
20	中仏生のつどい 門徒推進員協議会	仏壮連盟中央研修会
21	仏壮ボウリング大会	(~21・本山)
22		連区職員研修会
23	ビハーラ研修会 寺青声明サークル	(~23・富山)
24	長寿苑ビハーラ活動 教区コーラス練習日 布教団研修会	連区仏壮大会打合せ会 (~24・富山)
25	連区ビハーラ協議会(高岡)	
26	財務委員会 中央教修242期クラス会	
29	組主幹協議会	
3月		
1	龍谷高校卒業式 組長会 連区仏婦大会担当者会	
2	第2B門徒総代研修会 常任委員会 雨晴苑ビハーラ活動	
3	第4B門徒総代研修会 寺青40周年記念行事	
4	第1B門徒総代研修会	
7	常備会	
8	第3B門徒総代研修会 教区コーラス練習日	
10	仏壮理事会 教区委員会	
11	講社連盟役員会 東日本大震災追悼法要	
12	布教団公開講座	
14	常例法座 特別法務員研修会 ・雅楽講習会 聖典セミナー10回目	
15	仏婦常任委・単位会長会議	龍谷教学会議(富山)
17	福光教堂総代会	
18	財団理事・評議員会	
20		

ラジオ放送~西本願寺の時間~

『みほとけとともに』

北日本放送(KNB)・73.8kHz.
毎週土曜日(本山制作)午前6:15~6:25
第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00~6:10

2/20(土): 西原 祐治 氏(千葉県・西方寺)

「九条武子が遺したもの」

2/27(土): 西原 祐治 氏(千葉県・西方寺)

「ゼロからお寺を建てる」

2/28(日): 伯水 永雄 氏(高岡教区・明泉寺)

3/5(土): 西原 祐治 氏(千葉県・西方寺)

「色々な形の伝道を生み出そう」

3/12(土): 未 定

3/13(日): 未 定 (富山教区)

3/19(土): 未 定

3/26(土): 未 定

【西本願寺高岡会館3月の常例法座】

ご講師: 村上 昂文 氏

(高岡教区・西養寺)

ご講題: 『未 定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時から
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い
あわせてお参りください。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょう
か。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. での申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱(175袋) 8,300円

・大箱(36袋) 2,300円

・1組(10袋) 500円

お申込み先は・・・〒933-0878

高岡市東上関446 高岡教務所内(寺族青年会担当)

Tel.(050)5587-7708(代表) Fax.(0766)21-5152